

## (9) 災害リスクの高い地区の課題と取り組み方針の関係性

「(8)防災都市づくりの将来像」を実現するため、各課題に対して災害時に被害が発生しないようにする対策（回避）、災害時にもハード・ソフトの両面から被害を低減させる対策（低減）を踏まえた取り組み方針を定めます。

課題概要	取り組み方針
<b>【課題 1】</b>  最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、機能低下する可能性が高い医療施設	<b>【取り組み方針①】</b>  病院等との災害時の体制やハザードの共有、災害リスクの確認を行いつつ、降雨災害を念頭に入れた浸水対策などの整備を想定した防災・減災対策を実施します。  <b>【低減】</b>
<b>【課題 2】</b>  最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、指定緊急避難場所等の利用に支障が出る可能性が高い地区	<b>【取り組み方針②】</b>  災害時の体制やハザードの共有、災害リスクの確認を行いつつ、緊急指定避難場所等の安全性を確保することなどを目的とした防災・減災対策を実施します。  <b>【低減】</b>
<b>【課題 3】</b>  土砂災害の危険性が高まる前に避難を実施しければ人的な被害が発生する可能性が高い地区	<b>【取り組み方針③】</b>  災害リスクの危険性を周知徹底しつつ、住民の防災意識の醸成、土砂災害による被害を最小限に抑える防災・減災対策を実施します。  <b>【回避】 + 【低減】</b>
<b>【課題 4】【課題 5】</b>  最大想定規模の降雨に伴う氾濫流及び河岸侵食の発生時に建物が被害を受ける可能性が高い地区	<b>【取り組み方針④】</b>  建物が被害を受けるため、建物被害自体を防止するような対策を取り組みつつ、被害を最小限に抑えるため、「逃げる行動」と「逃げる時間の確保」につながる減災対策を実施します。  <b>【回避】 + 【低減】</b>
<b>【課題 6】</b>  最大想定規模の降雨に伴う洪水発生もしくはため池の決壊に際して水位上昇前に避難を実施しければ人的な被害の可能性が高い地区	<b>【取り組み方針⑤】</b>  水位上昇前に避難を実施するため、災害時の体制やハザードの共有、災害リスクの確認を行いつつ、河川や下水道等の整備を想定した防災・減災対策を実施します。  <b>【低減】</b>
<b>【課題 7】</b>  最大想定規模の降雨に伴う洪水発生に際して要配慮者利用施設で垂直避難が困難となる可能性が高い施設	<b>【取り組み方針⑥】</b>  避難確保計画の策定を進めるとともに、日頃から防災教育及び訓練を行うなど、災害の危険性が高める前に迅速な行動がとれるように、防災・減災対策を実施します。  <b>【低減】</b>